

未来 ひだか

みらくる

日高農業改良普及センター



日高町で「高密度は種栽培」をした米の試食会を開催！！

JA門別産「馬舞米（うまいべ）」の認知度の向上と、水稻の省力化技術である新たな栽培法「高密度は種栽培」への関心を高めることを目的に、高密度は種栽培米の試食会を令和3年1月19日に開催しました。試食会は、日高町豊郷（とよさと）で高密度は種の試験栽培を行った「ななつぼし」を、日高振興局食堂の米飯メニューで提供しました。

今年は、日高振興局食堂とJA門別、日高農業改良普及センター本所・西部支所の4カ所をリモートでつないで、食堂のお客様に対して活動紹介や意見交換を行いました。

門別町産米改良協会 森永会長からは、全道「ゆめぴりかコンテスト」で金賞を受賞した経緯の紹介があり、（株）ファームWP島田代表からは（株）ファームWPの活動紹介、JA門別姉川部長からは「馬舞米」の取り組みの説明がありました。

参加頂いた皆様からのアンケートでは、いつも食べているお米に比べ74%が「良い」とお答え頂きました。この結果は農業者、関係者の皆様の良質米生産に対するさらなる自信につながりました。

初めての試食会リモート開催でしたが、食堂もいつも以上に多くの皆様に利用して頂き大成功に終わることが出来ました。

さらに（株）ファームWP島田代表は、令和2年度北海道優良米生産出荷共例会「個人の部」にて最優秀賞を受賞しました！皆さん、日高のお米を食べましょう！

参考にしよう！ 地域の活動事例

地域振興作物の安定生産と新規参入者への支援

【本所 地域第一係】

新ひだか町では、地域振興作物の施設園芸（ミニトマト、花き）や和牛の生産が盛んです。また、新規参入者の受入を積極的に行っています。

本所地域第一係は、新ひだか町の縮図的な地域である静内東別3農事組合の12戸（施設園芸11戸、施設園芸+和牛1戸、うち新規参入者6戸）を対象に、平成28年度から令和2年度まで重点地区活動を展開しました。

活動の内容は、ミニトマトや花きの施肥管理技術や、冬野菜の害虫発生予察による防除時期等の提案を行いました。提案事項が実践されたことで、収量や農業粗生産額の増加につながりました。さらに、現地研修会では土壌断面調査を実施し、ミニトマトの根張りの状況確認と、生育や収量への影響について農業者と話し合いを行いました。

また、新規参入者が地域に定着できるように、関係機関で組織された新ひだか町担い手育成支援協議会では、情報共有に基づいた巡回や冬期講座の開催を行っており、着実に成果が現れています。

令和3年度以降も継続して地域の課題を重点地区の農業者とともに解決していきたいと思えます。



根張りと生育の関係について説明



害虫の防除時期を農業者に提案



新規参入者を対象に冬期講座を開催

新たな重点地区で活動していきます

【本所 地域第二係】

平成28年度より重点地区の浦河町富里地区で、黒毛和種経営、夏秋どりいちご経営の安定化や若手農業者の育成について支援してきました。黒毛和種経営では、繁殖雌牛の計画的な更新を推進した結果、0.4歳の若返りが図られました。夏秋どりいちご経営では、秋季収量向上のために推進してきた技術が3技術から6技術となり、重点地区だけでなく、浦河町・様似町にも波及し、定着しました（図1）。

令和3年度から様似町田代地区を新たな重点地区とし、夏秋どりいちご経営、畜産経営の安定化や担い手の確保について支援していきます。これからも関係機関と連携をしながら農業者とともに地域に根ざした活動を展開していきます。

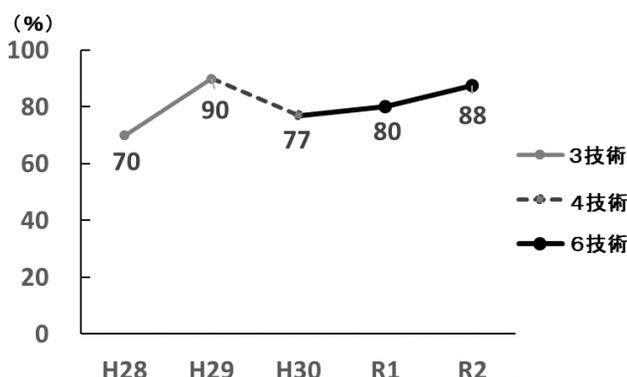


図1 夏秋どりいちごの秋季収量向上技術の年次別取組割合



写真：関係機関を交えた普及計画検討会

参考にしよう！ 地域の活動事例

コロナ禍でも負けない！ オンライン研修の取り組み！

【西部支所】

「スマイル☺トマト女子会」は、コロナ禍であっても「トマトの勉強がしたい！」との要望により、現地視察や座学講習会、全てをオンライン受講可能としました。

令和2年度は現地視察を含め10回開催することができました。「自宅で勉強できて良い」「質問もしやすい」と好評でした。オンライン研修は次年度も開催していきます。



令和3年度から平取町紫雲古津が日高西部支所の 重点普及課題地区になります。

平成28年度から令和2年度まで、日高町豊郷地区において、関係機関の協力を得ながら、地区内農作業受託法人の受委託システムの構築や、酪農の生産性向上を目標に活動を進めてきました。

令和3年度からは、対象地区を平取町紫雲古津に移し、施設園芸と水稻農家を中心に、主にトマトの収量性向上と水稻の省力化をテーマに活動を進めていきますので、よろしくをお願いします。

指導農業士・農業士が新たに認定されました

【広域班】

令和3年2月19日、新ひだか町にて北海道指導農業士・農業士称号贈呈式が挙行されました。

北海道指導農業士・農業士称号贈呈式は、例年全道の新規認定者が一堂に会し挙行されますが、本年は振興局ごとの対応となり、今回の開催となりました。

本年度、管内から以下の10名が認定されました。

北海道指導農業士（認定番号順、敬称略）

伊藤 俊介	(日高町)
大下 孝之	(新ひだか町)
姥谷 秀樹	(新ひだか町)
今田 浩愛	(新ひだか町)
小倉 正信	(新ひだか町)
榎本 一裕	(日高町)

北海道農業士（認定番号順、敬称略）

上島 大輔	(新ひだか町)
神垣 進	(新ひだか町)
中道 啓輔	(新ひだか町)
田中 和人	(新ひだか町)



記念撮影

式典では日高振興局 北村局長からの称号授与に続き、新規認定者を代表して、小倉正信指導農業士から決意のことばがありました。

「管内の冬野菜栽培実態をとりまとめました！」

【広域】

日高管内では、温暖な気候を活かして所得確保や通年雇用を目的に冬野菜の栽培が行われていますが、実態が把握されていないのが現状でした。そこで、普及センターでは令和元年～2年度にかけ管内の冬野菜栽培実態調査を行い、地域ごとに品目や作型、管理状況を整理しました。

また、道総研などで先進事例の情報収集を行うことで、冬季でも無加温で栽培できる野菜品目や空気膜被覆（温度確保上の工夫）といった日高管内でも活かそうなことが学べ、参考となりました。

地域の栽培実態をとりまとめ、現地事例や冬季栽培の注意点などを記載した栽培暦を作成したので、冬野菜栽培に興味がある方は普及センターまでお問い合わせください。



【先進事例(道南農試)調査】
空気膜無加温ハウスにおける試験栽培の状況を調査しました。

ちょこっとコラム 「進む！ オンライン研修会&会議」

普及センターでは、リモートによるオンライン研修会や会議を開催しています。メリットはなんと言っても「ラク！」です。現地研修会があるけれど、「忙しくてハウスから離れられない…」そんな中でも、スマートフォンなどで研修会に参加できます。現場第一ですが、「オンラインもありか?！」そう思えた一年でした。



青年農業研究大会(オンライン)

令和3年4月1日付けで職員の異動がありました

〈 よろしくお願ひします 〉



本所
次長
森 久夫

日高の特性を活かす地域農業の発展に貢献できればと思います。宜しくお願ひします。



本所
主査(情報・ｸﾘｰﾝ・有機)
小林 佐代

有機農業やGAPは初めての業務となりますが、地域の振興に役立てるようがんばります。



本所
主査(高付加価値化)
菊地 紀代美

笑顔！楽しく！地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞ、よろしくお願ひします。



西部支所
専門普及指導員
小川 洋平

日高農業の振興や課題解決に向けて「全集中!!普及の呼吸」で取り組む所存です。宜しくお願ひ致します。

〈 お世話になりました 〉

所属	役職	名前	転出先
本所	次長	宗像 政美	退職
本所	主査(情報・ｸﾘｰﾝ・有機)	荒井 邦浩	石狩農業改良普及センター 本所
本所	主査(高付加価値化)	後藤 昌人	檜山農業改良普及センター 檜山北部支所
本所	専門主任	小柳 満美	石狩農業改良普及センター 石狩北部支所
西部支所	専門普及指導員	大塚 美幸	退職

日高農業改良普及センター本所 TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521
〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号

日高農業改良普及センター日高西部支所 TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918
〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6

日高農業改良普及センターホームページアドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>

